

症例報告

COVID-19 ワクチンによると思われる副反応の 1 例：  
特異な脈診と治療経過について

豊田 典正<sup>1)</sup>

A case of adverse reaction probably due to COVID-19 vaccine:  
Unusual pulse diagnosis and the course of acupuncture treatment

Norimasa Toyota<sup>1)</sup>

【抄録】 目的： COVID-19 ワクチンの副反応と思われる症例に特異な脈証を経験したので鍼灸治療経過を報告する。症例： 79 歳女性、COVID-19 ファイザー製二価ワクチン接種翌日から全身倦怠感と筋肉痛、後頸部から肩背部にかけての痛みを来し来院。

経過： 初診時、頸部の運動障害が強く、頭痛、胸苦しさを呈した。六部定位脈診により、肝・心包の虚と判断したが、通常とは違う珍しい脈証を呈していた。陽部が強く緊張感を持っていたが、実脈と言うより陰虚により陽が動じていると捉えた。治療は陽経を瀉さずに、陰経の補法を主体とした。

考察と結論： 本例は、ワクチン後発症した胸苦しさと頸部の運動障害を来し、他に誘因なく、COVID-19 ワクチンの後遺症と判断した。本例の脈状は特筆すべきであり、即ち、陽動の脈を呈していたが、中脈が安定しており真気は充実していた。この為、治療は、陽経を瀉さず、陰経の補法を主体として行い軽快した。初診の脈証が重要であった。

**[Abstract] Purpose:** We report here a case with a unique pulse sign in a case of possible adverse reactions to the COVID 19 vaccine. **Case:** A 79-year-old woman came to our clinic with general malaise, myalgia, and pain from the posterior neck to the back of her shoulders since the day after vaccination with COVID 19 Pfizer's bivalent vaccine. On initial examination, the patient presented with severe cervical stiffness, headache, and the chest tightness. The patient's pulse was determined to be deficient state of Chi( energy) in the liver and cardiac based on 6-part stereotactic pulse diagnosis method. It's an unusual pulse testimony different from normal pulses. It appeared the positive pulse to be strong and tense, but in reality, it was determined that the yang was agitated due to yin deficiency. Therefore, the treatment was not to purge the yang meridian, but to mainly supplement the yin meridian.

**Conclusion:** Initial pulse examination was important.

**Key Words :** COVID-19, ワクチン副反応, 脈診, 鍼灸治療, 真気

---

<sup>1)</sup> 鍼灸専門治療院帯広杏林堂

## 1, はじめに

COVID-19 ワクチンの副反応は、接種後に注射部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等がみられるが、これらの副反応は通常は一過性で、ほぼ1週間以内に消退するとされる<sup>1</sup>。今回、5年前から坐骨神経痛で当院に通院中の患者が、ワクチン接種直後より、諸種の症状を呈し、一旦近医で処置を受けるも軽快しない為に、当院を受診した。受診時本例では特異な脈証がみられ、それを基に鍼灸治療を行い、6診にて軽快した。

## 2, 症例：79歳女性

主訴) 全身倦怠感と後頸部から肩背部の筋肉痛

現病歴) 2023年X月、COVID-19のワクチン接種翌日から全身倦怠感と筋肉痛、特に後頸部から肩背部にかけての痛みを感じるようになった。痛みは、特に起居時に強く、頸部の運動が出来なかった。加えて頭痛や胸苦しさも有ったが発熱はなかった。整形外科を受診するもワクチンの副反応との因果関係は指摘されなかった。症状軽快せず、ワクチン接種後4日目に当院に来院。既往歴) 5年前から坐骨神経痛で当院通院中。

受診時の脈証) 六部定位脈診により、肝・心包の虚と診断した。本例の脈証は、やや数脈で全般的に陽部が強く緊張感を持っていた。それは実脈と言うより陰虚により陽

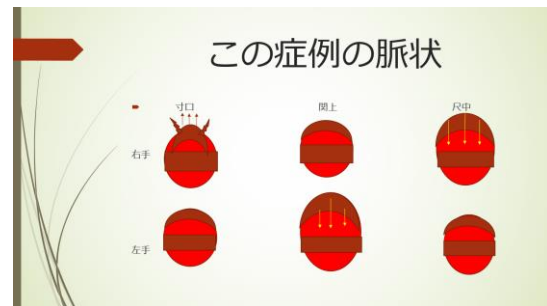


図1 本例の脈証

が動じている（陽動の脈証）と捉え、珍しい脈証であると判断した（図1）。

六部定位脈診により、肝・心包の虚と判断した。そこで、陽経を瀉さず、陰経の補法を主体として施術した。

## 3, 治療と経過

鍼灸労作後倦怠感に注意しながら、ディスプレイザブル鍼にて虚している肝経 LR 及び心包経 PC を補うため、経の流注に従い以下のように施術した（表1）。具体的には、行間 LR2、曲泉 R8、郄門 PC4、大陵 PC7 に1～5mm 程度刺入、上背部の顕著な圧痛部位（天柱 BL10、神道 GV11、膈俞 BL46）に15分置鍼、抜鍼後、半米粒大もぐさにて5～7壯透熱灸（膻中 V17、曲池 LI11）。3診目（3日目）から一気に改善し、4診目（6日目）、5診目（10日目）、6診目（13日目）にて軽快した。主な施術点（経穴）を図2-1～4に示した。

表 1:本例に用いた経絡

肝経、行間 LR2、曲泉 LR8、  
心包経、郄門 PC4、大陵 PC7 に 1~5mm 程度刺入、  
腹部、中院 CV12、天枢 ST25、関元 CV4、足三里 ST36 に散鍼、  
背部、肝兪 BL18、膈兪 BL14  
頸部、上背部の顕著な圧痛部位(天柱 BL10、Th 4 棘突起下、膈関 BL46)に 15 分置鍼、抜  
鍼後、半米粒大もぐさにて 5~7 壯透熱灸 膈中 V17、曲池 LI11(仰臥位時) 天柱(腹臥位時)

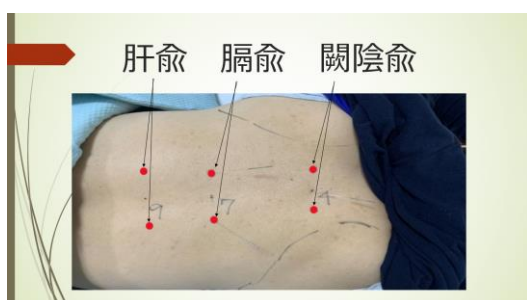


図 2-1 肝兪、膈兪、膈陰兪



図 2-2 天柱

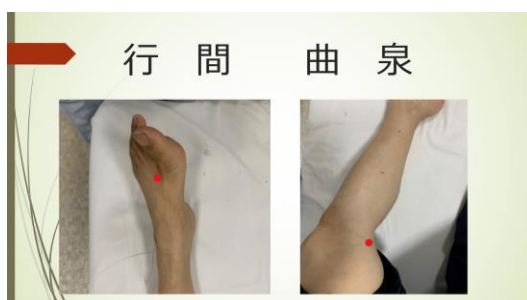


図 2-3 行間、曲泉



図 2-4 郄門、大陵

#### 4, 考察

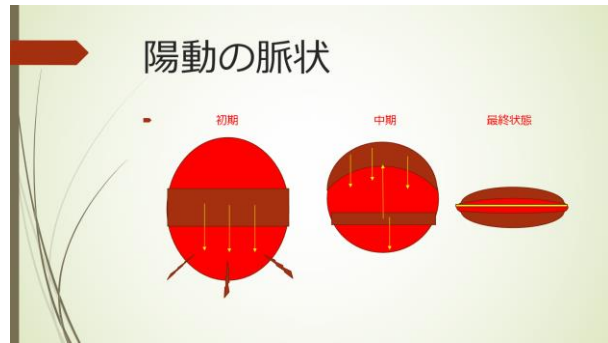
COVID-19 後遺症に対する鍼灸治療には慢性疼痛<sup>2</sup>や倦怠感と嗅覚異常<sup>3</sup>の報告があり、漢方薬と鍼灸治療の併用<sup>4</sup>の報告もある。一方、ワクチン副反応に関しては、有害事象に対する耳指圧<sup>5</sup>のみである。副反応はワクチン接種との潜在的な相関関係で観察されているが、因果関係を立証することは難しい。しかし、今回の患者は接種直後の発症であること及び、過去 5 年の当院での病歴に今回の症状がないこと等に鑑

みて、ワクチン関連の副反応と考えるのが妥当であると思われた。

本例に診られた陽動の脈(図 3)とは、慢性的な体力消耗状態が続いた時に現れることが多いが、脈に触れた時に表位陽部に脈動を強く感じるものである。実脈と違い、突き上げて来るような不安定な感じはなく、ただ粛々とした脈動を呈する。例えば、インフルエンザ罹患後、なかなか回復しないような状態のときや、まれに、がんの末期であるが、まだ動けるようなときにも出現する。本例の脈状(図 1)は、図 3 で見る

様に陰の気の力が弱まって相対的に陽の気が勝る、陽動の脈状に当たることが分かる。

図3 陽動の脈状



このように、本例の脈証は、全般的に陽部が強く緊張感を持っていたが、実脈と言うより陰虚により陽が動じていると捉え、陽経を瀉さず、陰経の補法を主体とした。普通、陰虚の強いときに見られる脈証である。つまり、本例では生命活動の原動力、生命エネルギーである真気（元気とほぼ同義語）が失われていない状態と考えた。

霊枢経・刺節真邪によれば、「真気とは天より受くるところ、穀気と併さりて身を充たすものなり」とされ、先天の原気と後天の原気（水穀の精微）が合わさり生成されるものと考えられている。

最後に症状軽減が、鍼の効果であったのか自然治癒によるものなのかに関して、脈の変化及び症状の軽減が一致していたことから、鍼の効果ありとするのが妥当と考えた。

## 5, 結論

COVID-19 ワクチンの副反応にて、特異な脈状を呈した症例を経験した。本例は、一見陽実の脈を呈しながら、内実は陰虚により陽が動じていると判断し、陰経の補法を主体に施術した。本例では、幸い中脈が安定しており、いわゆる真気が充実していたので、症状が軽減したと思われた。この様に、初診からの脈診をしっかり行うこと

が、状態の判断、治療の方針を決める上で極めて重要であることを示した1例であった。

## 参考文献

1. Maruyama A , Sawa T, Teramukai S, et al. Adverse reactions to the first and second doses of Pfizer-BioNTech COVID-19 vaccine among healthcare workers. J Infect Chemother, 2022;28(7) : 934-942. doi: 10.1016/j.jiac.2022.03.015.
2. 齋藤隆裕, 阿部りさ, 宮山貴大. 新型コロナウイルス感染の後遺症を疑う慢性疼痛に対する鍼灸治療の1例. 中医臨床 2021;42(3): 342-345.
3. 三保翔平. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による後遺症に鍼灸治療を適用した症例. 伝統医療看護連携研究. 2021; 3(1): 21-21.
4. 山中一星, 野上達也, 高士将典 他. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)後に生じた症状に対して漢方薬と鍼灸治療を併用した1例. 漢方の臨床 2022; 69(2):183-188
5. Fu Q, Xie H, Zhou L, et al. Auricular acupressure for adverse events following immunization related to COVID-19 vaccine injection: study protocol for a

multicenter, three-arm, blinded randomized controlled trial. *Trials* 2021; 22(1):857.  
doi: 10.1186/s13063-021-05837-x.

6. 追補(参考資料)：真気に関する古典；  
靈枢経・刺節真邪、靈枢経・歳露篇、  
素問・熱論；同・金匱真言論篇、小林  
三剛著：東洋医学講座（謙光社）。

(本論文に関して開示すべき COI はなし。

本報告は第 13 回予防鍼灸研究会定例会にて発表した。)